

皆さんへ

R2.5.12 倉崎千草

新緑の季節となりました。

山の景色も桜から藤の紫へと移り、田には水がたたえられています。

感染拡大の徹底防止のため、臨時休業（休校）は5月末まで延長されることになりました。思わぬ長期戦となり誰もが複雑かつ不安な思いを抱えています。

そんな中、5月8日（金）の登校日には久しぶりに生徒の皆さんと再会することができました。マスク越しではありますが、元気な笑顔や挨拶に接し、「やはり生徒がいてこそこの学校だなあ」という思いをかみしめました。

先月来、高校総体、吹奏楽コンクールはじめ各種大会中止の報が続きました。やりきれない思いで、とても言葉が見つかりません。中止を決断せざるを得なかった側も、長年、監督・顧問として生徒と共に歩んできた方々であり、誰よりも大会の重さ、特に3年生がこれに賭ける思いを知っている人たちです。「苦渋の決断」という言葉をこれほど実感もって受け止めたことはありません。

三高の皆さんも、同じ思いをしている全国の高校生たちも、前を向くのはたやすいことではないと思います。様々な感情がわいてくるのも当たり前です。

ただ、このつらい決断が行われた、その目的をしっかり受けとめましょう。そして、皆さん自身と多くの人々の努力で守ってきた健康と安全を、明日の自分のため、困っている誰かのために活かせる日を待ちましょう。

来週からは「**教科指導を中心とした分散登校日**」が始まります。感染防止のための様々な制限があり、担当の先生方は時間割作成に奮闘中です。

皆さんにとって対面して学ぶ久々の機会。日数や時間は限られますが、この貴重な「助走期間」に心身の準備を整えて、学校再開を迎えてください。

蒼雲館横のユリの木が  
日々青葉を繁らせて、  
皆さんを待っています！



(4月末)



(現在)